

2020 年度 事業報告

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

◆ 概況

2020 年度は前年度の業績を更に進展させるべく、

1. 博物館展示の質向上
2. 講習会、イベント、セミナー等の充実
3. 賛助会員、友の会会員の新規募集（拡充・継続）
4. 人材育成事業（奨学・育英及び研究助成）

の4つの基本方針のもと、具体的な取組みをさらに前進させていく計画としておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、一年を通じて木材・合板博物館が臨時休館を余儀なくされ、博物館運営におけるほぼ全てのイベントが中止や延期になるなど、事業計画に多大な影響を及ぼしました。

今後も新型コロナウイルスによる影響は不透明であり、各イベントの開催形態も変化していくものと考えられます。時代のニーズに沿ったサービス提供に積極的に取り組むことで、ご来館者様、関係各位様にご満足いただけるようウィズコロナ、ポストコロナ時代に対応した運営に引き続き努めて参ります。

◆ 賛助会員数（2021 年 3 月 31 日現在）

法人会員 219 団体、362 口（前年度比 -10 団体、-20 口）

個人会員(友の会)プレミアム会員 27 名、一般会員 1 名 合計 28 名（前年度比 -40 名）

◆ 来館者数（2020 年 4 月～2021 年 3 月）

967 名 [大人 857 名 子供 110 名]

（前年度比 -10,864 名 [大人 -7,024 名 子供 -3,840 名]

※ 累計来館者数（2007 年 10 月～2021 年 3 月）

136,652 名 [大人 103,731 名 子供 32,921 名]

1. 公益目的事業

(1) 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

1F 企業展示コーナー TOTO(株)様、(株)ウッドワン様、ジャパン建材(株)様

3F 展示室 ハワード・ヒューズ製作木製飛行機の模型展示

4F ミニギャラリーにてカメラマン吉田繁氏「巨樹 写真展」開催及び
木育コーナーのリニューアル

(2) 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業
ア 季刊誌等での情報発信

① 定期情報誌「PLY」(年 4 回)

第 13 号：巻頭インタビュー「重ねる」水中カメラマン 豊田直之氏

第 14 号：巻頭インタビュー「重ねる」五百羅漢寺 執事・学芸員 堀研心氏

第 15 号：巻頭インタビュー「重ねる」日本野鳥の会東京 幹事 糸嶺篤人氏

第 16 号：巻頭インタビュー「重ねる」日本防災教育訓練センター

代表理事 サニー カミヤ氏

② 博物館の広報・PR活動

・テレビ、ラジオ、Web

インターネットミュージアム、江東おでかけ情報局、ゆるキャラグランプリ 2020、レインボーFM ラジオ出演、TOKYO MX テレビ「お江戸に恋して」博物館紹介、

・紙媒体

旺文社「家族でおでかけ夏休み号」、まっふる「家族でおでかけ夏休み」、公募ガイド、フォトコン、林政ニュース、日刊木材新聞(合板の日)、林野庁情報誌「林野」

・展示会への出展および出前工作

豊洲スタイルマーケット

・林野庁 7階中央展示室において、ポスター等 PR 展示 (2021年1月)

イ 第12回「木と合板」写真コンテスト

応募期間：2020年7月1日(水)～8月31日(月)

結果発表：2020年10月31日(土)

昨年に引き続き特別審査員としてプロカメラマン吉田繁氏に依頼、協賛を募った。

応募作品数： 応募総数 655 作品 (前年度比 +241 作品)

協賛企業・団体： 33 社 50 口 (前年度比 -8 社、-9 口)

ウ 第8回「合板の日」記念式典 (日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

エ 団体見学の受け入れ

(教育機関)

・江東区内の小中学校区めぐりは中止のため来館なし ・東京電機大学大学院

(その他団体等)

・全日本木工商業組合 ・その他 木材、合板関連会社 数社

オ ワークショップ

新型コロナウイルス感染症の影響により下記イベントは全て中止となりました。

- ① 夏休み木工教室、② ワンコイン工作教室の開催、③いつでも工作体験の実施、
- ④ 博物館無料セミナー

(3) 奨学・育英及び研究助成事業 (給付型)

① 奨学・育英事業

目的：向学心がありながら家庭の経済的な理由により、修学が困難な学生に対し奨学援助を行い、社会に有用な人材を育成することを目的とする。

対象：江東区内の当財団指定の高校に在学する者

選考結果および金額： 6名 (応募者 8名) 360,000円/人 合計 2,160,000円

都立江東商業高等学校	2名
都立深川高等学校	1名
都立東高等学校	1名
芝浦工業大学附属高等学校	1名
中央学院大学中央高等学校	1名

② 研究助成事業

目的：木材関連分野に関する研究を行っている将来有望な若手研究者（大学院生）の育成のための財政支援を行うことを目的とする。

対象：35歳以下の大学院に在籍する学生に限る。また、申請者は木材関連の学協会の学生会員または正会員であることが望ましい。

選考結果および金額：3名（応募者5名） 500,000円/人 合計1,500,000円

氏名	所属	研究課題名
森井 拓哉	東京大学	木材産業連関表の作成による統計基盤整備
石岡 瞬	東京大学	多重積層によるナノセルロース透明板材の形成と寸法・特性相関
篠原 朋樹	静岡大学	ビス引き抜き耐力推定精度の向上 ー木材の三次元密度分布を用いた推定の検討ー

2. 収益目的事業

（1）ウッドマスター講習会

① 基礎講座

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

ただし、次年度に向けたオンライン講習会を下記日程にて試験的に行いました。

2020年11月18日（木）参加企業：3社

② 中級講座

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

（2）ショップ販売

・木製品等の販売

収入：40,560円（前年度比 -1,204,160円）

・自動販売機による飲料の販売、コピー機利用による収入

収入：1,934円（前年度比 -18,751円）

以上